

# 平成21年度リスク評価の進捗状況

(平成22年3月17日現在)

資料1-2

20年度

平成21年度

次年度以降

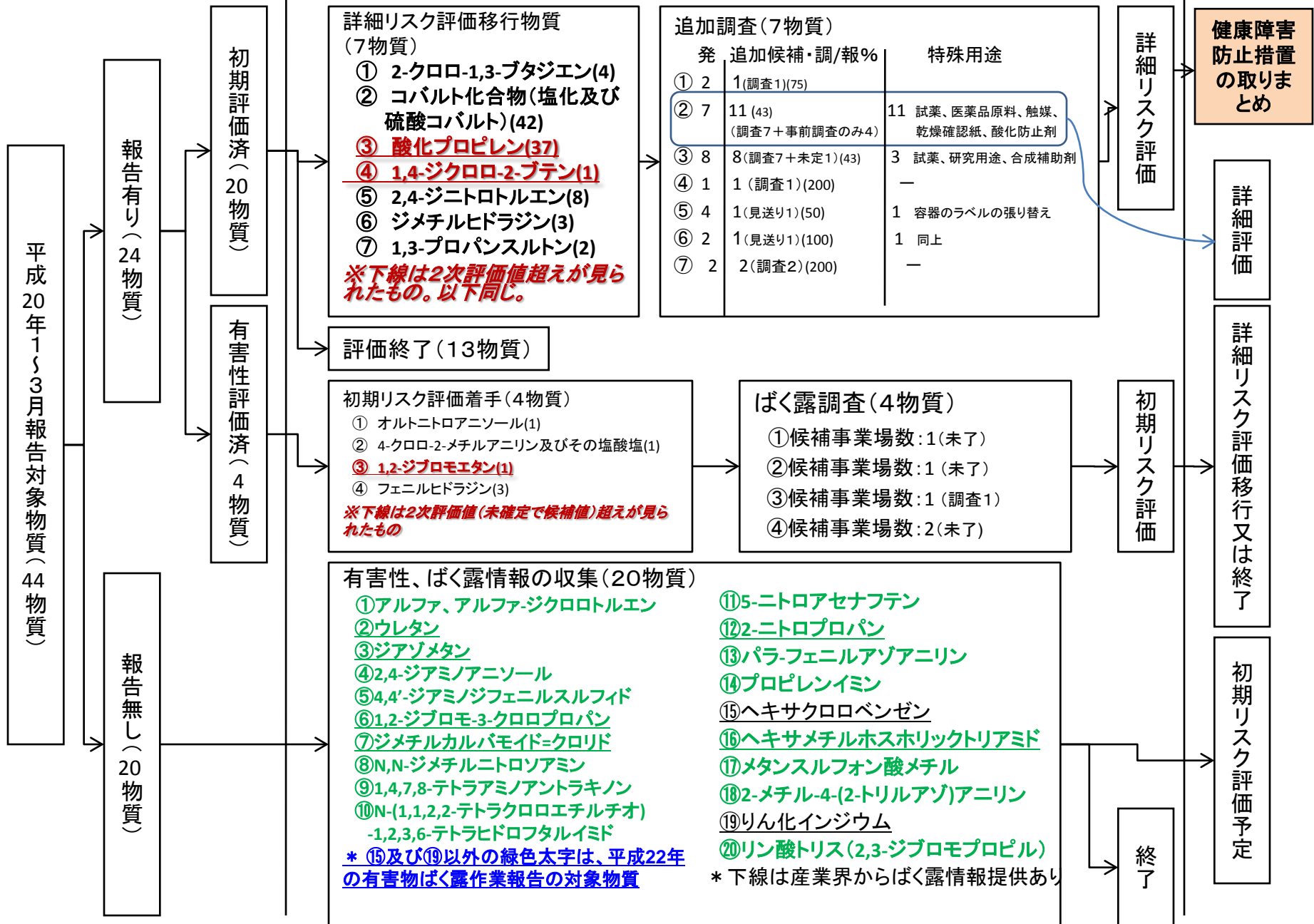


(その2)

20年度

平成21年度

次年度以降



平成21年度に検討したリスク評価対象物質の評価値

	物質名	実態調査	一次評価値	二次評価値
1	アクリル酸エチル	●	評価値なし	5 ppm (ACGIH)
2	アセトアルデヒド	●	0.14 ppm	25 ppm (ACGIH天井値)
3	インジウム及びその化合物	●	$3.0 \times 10^{-5} \text{ mg/m}^3$ (インジウムとして)	0.1 mg/m <sup>3</sup> (インジウムとして) (ACGIH)
4	エチルベンゼン	●	3.2 ppm	50 ppm (日本産衛学会)
5	カテコール	●	評価値なし	5 ppm (ACGIH)
6	コバルト及びその化合物	●	評価値なし	0.02 mg/m <sup>3</sup> (Coとして) (ACGIH)
7	酢酸ビニル	●	評価値なし	10 ppm (ACGIH)
8	ナフタレン	×	評価値なし	10 ppm (ACGIH)
9	1,2-ジブロモエタン	●	$1.3 \times 10^{-5} \text{ ppm}$	検討中 (ACGIH及び日本産衛学会：設定されていない。)
10	アルファ、アルファ-ジクロロトルエン	×	評価値なし	検討中 (ACGIH及び日本産衛学会：設定されていない。)
11	ウレタン	×	$1.7 \mu\text{g/m}^3$	検討中 (ACGIH及び日本産衛学会：設定されていない。)
12	ジアゾメタン	×	評価値なし	0.2 ppm (ACGIH)
13	ジメチルカルバモイル=クロリド	×	評価値なし	0.005 ppm (ACGIH)

※1 「実態調査」欄については、「●」は「有害物ばく露作業報告」において報告があり、本年度ばく露実態調査に着手している物質を、「×」は本年度にばく露実態調査を予定していない物質を表している。

※2 「二次評価値」の欄の略語の意味は次のとおり。

- ・「ACGIH」とは、米国産業衛生専門家会議のTLVを示す。
- ・「日本産衛学会」とは、日本産業衛生学会の許容濃度を示す。